



# 八重山育ち

本調子

2 / 2

一、八重の潮路に囲まれて

緑の島々歌の島

鳩間仲森走り登り

クバの葉陰で

ヤレ 八重山育ち

二、田草取るなら紅たすき

燃ゆる想いを色に染め

ユンタ・ジラバで語りゃんせ

いとしくヤマモ

ヤレ 八重山育ち

白雲たなびく於茂登岳

清き流れの宮良川

尽きぬ情けの花の島

「綾羽ば生らしょうり びる羽ば産  
だしょうり」

歌と踊りの

ヤレ 八重山育ち

人魚の踊る新城島

越ぬ端の物語

世果報を迎える巻踊り

「庭や雪降り梅や花咲ちゆい 無  
蔵が懐や真南風ど吹ちゆる」

昔ゆかしき

ヤレ 八重山育ち

三、古見の浦浜来てみれば

昔なつかしブナレーマ

沖の黒潮眼にしみる

船浮カマドマ

ヤレ 八重山育ち

四、

口説ばやしにひかされて

花の黒島来てみれば

島の乙女の純情に

栗酒のんで

ヤレ 八重山育ち

星影暗き夜半時

恋の細道トウバラーマ

せつない想いに

身を焦がす

「君と二人で通ようた小路 今じゃ  
イバラが纏（もつ）れて咲くよ」

可愛い美童（みやらび）

ヤレ 八重山育ち

南の果ての波照間に  
歴史を綾取る人々が  
島を守りの神々に 心合わせて  
ヤレ 八重山育ち

月夜の浜の荒磯で

鳴くや千鳥の恋の歌

出船悲しや ションカネ

情あふるる

ヤレ 八重山育ち